



平成20年5月8日  
国立大学法人千葉大学

## 「柏の葉国際キャンパスタウン構想」の策定について

千葉大学では、つくばエクスプレス沿線地域（柏・流山地域）のまちづくりの中心的役割を担う柏の葉キャンパス駅周辺において、「環境・健康・創造・交流の街」の基本コンセプトに基づく公民学連携のまちづくりに積極的に参加してきました。平成18年度からは、千葉県、柏市、東京大学と共同で、「柏の葉国際キャンパスタウン構想」を検討してきましたが、この度これを本構想としてとりまとめました。概要は下記の通りです。

今後は、本構想具体化のため、千葉県、柏市、東京大学、千葉大学が連携し、民間企業、市民・NPO等とともに取組を進めてまいります。

### 記

#### 1 本構想検討の経緯

平成18年度から、千葉県・柏市・東京大学・千葉大学の4者共同事業として検討した。検討に当たっては、柏の葉国際キャンパスタウン構想検討委員会を組織し、検討を行った。

#### 柏の葉国際キャンパスタウン構想検討委員会

委員長	雨宮 慶幸（東京大学大学院新領域創成科学研究科長）
委員	北沢 猛（東京大学教授・柏の葉国際キャンパスタウン構想ワーキング座長）
委員	天野 洋（千葉大学環境健康フィールド科学センター長）
委員	栗生 明（千葉大学大学院教授）
委員	千葉県総合企画部企画調整課長、県土整備部技監
委員	柏市企画部長、都市計画部長

#### 2 柏の葉国際キャンパスタウンとは

優れた自然環境と共生し、健康で質の高いデザインの居住・就業環境が実現された、持続性の高い次世代の環境都市

最先端の大学や公的研究機関等が連携・交流し、新産業や文化の価値創造が生み出され、T X沿線や世界へ羽ばたく国際学術研究都市

### 3 本構想の概要（別添「柏の葉国際キャンパスタウン構想【概要版】」参照）

#### （1）構成

本構想では、具体的な都市づくりに取り組むため、環境・産業・国際・交通等に関する8つの目標を定めている。これらの目標には、大学や民間等の先進的な発想を取り入れた重点施策を盛り込み、未来に向けたまちづくりのビジョンとなっている。

- 目標1 環境と共生する田園都市づくり（環境分野）
- 目標2 創造的な産業空間と文化空間の醸成（産業分野）
- 目標3 国際的な学術空間と教育空間の形成（国際分野）
- 目標4 サステナブルな移動交通システム（交通分野）
- 目標5 キャンパスリンクによる柏の葉スタイルの創出（健康分野）
- 目標6 エリアマネジメントの実施（エリアマネジメント分野）
- 目標7 質の高い都市空間のデザイン（都市づくり分野）
- 目標8 イノベーション・フィールド都市（実証実験分野）

#### （2）千葉大学が本構想に関わる分野（例）

##### 目標1「環境と共生する田園都市づくり」

2030年までにCO<sub>2</sub>削減35%を達成するために、本学環境健康フィールド科学センターにおいてカーボンオフセットキャンパス研究を行っている。

##### 目標3の「国際的な学術空間と教育空間の形成」

市民と大学が交流する場を提供するとともに、地域連携型の教育プログラムをつくる。

##### 目標5の「キャンパスリンクによる柏の葉スタイルの創出」

本学が推進する「ケミレスタウンプロジェクト」や「予防医学プロジェクト」を通じて、健康で快適な生活空間を実現するための研究を行うとともに、農や食の文化を育む空間と生活を充実させるための研究プログラムを充実させる。

### 4 当面の取組について

千葉大学としては今年度も、これまでの研究や実証実験成果をさらに推進して大学と地域が連携したまちづくりに積極的に取り組んでいく。

また、国の「環境モデル都市」や「地方の元気再生事業」等への応募など、本構想の具体化に向けて積極的に連携協力していく。

以上

本件に関するお問い合わせ先 千葉大学キャンパス整備企画室 教授 上野 武 Tel：043-290-2147 Fax：043-290-2148 E-mail：uenot@faculty.chiba-u.jp
--